

計画巡る規制、リスク検討

有識者会議
作業部会



東北誘致

工は既存の法規制などの適用外の部分が多い」と指摘する一方で「社会的な影響が大きい施設となり、自主的に専用の基準や規制をつくることが重要」と強調した。

施設の運用終了後の維持管理方法についても検討の必要性を訴えた。

ILCの地下トンネルの工法などについても議論した。第3回会合は月内に開催する。

【東京支社】国際リニアコライダー(ILC)の計画見直しを巡り、文部科学省の有識者会議が再設置した技術設計報告書(TDR)検証作業部会(座長・横溝英明総合科学研究機構理事長)の第2回会合は2日、同省で開かれた。ILC計画に関する規制、リスクなどを検討した。

委員10人が出席。野村総合研究所コンサルティンク事業本部が調査分析を報告した。「ILCの加速器、地下空洞の計画や施